



# もりの手紙

mo ri no te ga mi

11  
Nov

森にこうよ!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com/

NO 304 / 2022

安全キャンペーン  
自分のために、仲間の  
ために、家族のために、  
安全の確保!!

## contents

- ★11月例会案内  
《11月20日(第3日曜)》  
「黄金山」見晴らしを取り戻そう  
..... 2
- ★9月例会報告  
「河平連山」登山道整備：北田  
..... 3
- ★部会報告《10月》  
クラフト部会：佐藤  
里山部会：岩田  
..... 4
- ★第3回もりメイトキッズ：佐々木  
..... 5
- ★【新コーナー】  
《森づくり啓蒙シリーズ》  
\*RCCみんなで森を作ろう：山本  
\*三滝キッズレンジャー：見勢井  
..... 6
- \*学校間交流：秋武
- ★今月のひと枝：ロウヤガキ  
..... 7
- ★11月・各部の活動予定他  
(クリスマスマーケット&アシ刈り)  
..... 8



ヨイショ、みんなでコナラの木を倒したよ(上)。エイ！薪割り体験(左下)。学生ボランティアも子ども達に負けじとエイッ！第3回 もりメイトキッズより。詳細は、5ページ

## 私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

〈 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 〉

もりメイト倶楽部  
HIROSHIMA

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

### 『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

**みんなで森づくり**：健康で生き生きした森を育てます。  
**森を育てる技術を磨く**：森づくりを学び、日々実践・研鑽。  
**森から学ぶ**：人と森との関わりを学びます。  
**森の恵みを伝える**：恵みを利活用し、拡げる活動。

### 例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)  
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！  
全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



案内



# 11月例会

「**黄金山**」見晴らしを取り戻そう！《担当：1班》

※  
【**黄金山山頂エリア活性化推進協議会**】との協働作業  
地元の方々と、見晴らしをよくする為の整備を行います。

◆日 時： 11月20日(第3日曜) 9時～15時少雨決行  
※担当班のメンバー＆リーダーは8時までに現場へ集合して下さい。

◆会 場：【**黄金山山頂**】

《駐車台数が限られています。連絡を取り合い、出来るだけ乗り合わせてご参加ください。尚、当日は、駐車係員の誘導に従って駐車してください。》

◆持参物： **山の道具・水筒** 《名札も忘れずに》

※ 準備出来る方は鎌、チェーンソーとチャプス、スパイク付き地下足袋をご持参下さい。

※ 当日の弁当は要りません「カレーライス&温かいおでん」を、地元の皆さんが準備して下さいます。

※ コロナ感染防止対策（マスク）も忘れずにご用意下さい

◆申込み： 11月14日(月)

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい

**090-6419-7531** : [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、2008年3月から黄金山を整備する活動に関わっています。これまでに行なったさまざまな活動は、20回に及びます。今回の作業は、昨年に引き続き、見晴しが望めず『ぜひ整備を手伝って欲しい』との地元からの要請を受け、周辺木によって生育が妨げられている山頂付近の整備を行います。今後も、地域と共に、環境保全、眺望改善、地域の活性化につながる活動を、地域貢献活動として展開していきたいと思っております。伐った後の処理にもたくさんの手が必要です。皆さん、奮ってご参加下さい。

※【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】は、大河、黄金山、仁保、楠那の4つの学区の社会福祉協議会等で構成されており、広島市街を眺望できる黄金山の山頂エリアを、魅力的な観光資源として活性化し再整備するための取組を行っています。】

← ～～写真は、昨年の活動から～～  
上：地元の方々と朝のミーティングの様子。 下：山頂付近での整備

12月の例会は毎年休会しております。来年もまた、さらにフレッシュな気持ちでスタートしましょう。





**安全第一で危険な枯れ松伐倒に挑戦、登山道を塞ぐ倒木も処理。が、まだまだ小範囲。先は長い！！**

台風の影響を心配しましたが、当日の天候は晴れ。活動するには少し暑いほどでした。作業の大変さが見込まれ、いつもより30分早い8時30分にスタート、倶楽部員の参加は21名でした。

河平連山登山道を整備するきっかけは、もりメイトキッズのフィールドとして松ヶ原の地域と関わりを持つようになり、以前2回ほど整備を行った経緯によります。毎週土曜日に地域の野菜などを販売する「こぶしの里」の代表平野さんから、「登山道が荒れているので、力を貸して欲しい。高齢化が進み中々手がまわらない」との話があり、地域貢献としてお受けする事となりました。

朝のミーティングは、これら河平連山に関わる経緯などを含めた山本理事長のあいさつに始まり、地元自治会長中本さん、こぶしの里代表の平野さんのあいさつと続きました。その後、作業の説明、見勢井顧問からの安全上の注意事項の後、ラジオ体操を行い、車に分乗して作業グループごとに作業現場に向かいました。

当日のメイン作業は、登山道そばの枯れ松の伐倒処理です。枯れ松の伐倒は作業中の枝の落下、幹が折れる等危険性が高いため、伐倒方向、チルで引く方向、ロープを掛ける高さなど班のメンバーで話し合い、合図の確認徹底を実践しました。また、作業ごとにチルホールやロープチル、チェーンソーの講習も併せて行いました。

各グループとも、予定していた作業は安全にほぼ終了しました。ただし、登山道で整備したいエリアからすればまだまだ小範囲です。今後、河平連山の登山道整備に関わっていくのであれば、ノコ、ナタの軽装備で見晴らしの景観整備を行なえばと思いました。



枯れ松の伐倒について話す見勢井顧問



平野さん(左)と中本さん(右)



豊かな自然に恵まれた登山道



至る所に点在する枯れ松の大木。



登山道に横たわる倒木を処理



安全に倒す為話し合いを重ねる



この時とばかりにチェーンソーの講習も。





★10月の部会は、鹿ヶ谷基地の里山のクリやハゼノキ、コシアブラの葉が紅葉し少し枯葉の香り漂う鹿ヶ谷公園の中、10月29、30日に開催の「秋のグリーンフェア」、11月3日の「森の市」への出展作品のクラフト部材製作、道具、絵付けセットなど、備品準備に追われました。また、「太田川学校間交流事業&子ども会交流事業」へのクラフト部材提供を行いました。

メンバーの大半は高齢で多少療養中の方も居られますが、元気に参加して頂いております。10月は「もりメイド倶楽部」が携わるイベントや取り組む事業に、クラフト部メンバーが指導員として参加し、限られた部員での準備に追われました。会員の皆さんには各出展に指導員としての協働をお願いしており、例年300作品程、子供達に指導し森の恵みを楽しんでいただいております。今年も一緒に楽しみましょう。

また、各部会の連携として、里山部会の活動の場である妙國寺において、有志が集い「スクウスクの森PJ」の納屋の屋根張り替えと薪棚製作を、お寺の改修時の廃材・古材を使い6月より月1回行い、10月の里山部会で完成しました。協働頂いた皆さま有難うございました。薪棚は、地域の防災対策備蓄薪棚に使用されます。

11月はクラフト部の原点に戻り、間伐材を有効利用したクラフトや干支(兔)製作を楽しみたいと思います。



妙國寺屋根吹き替え工事の古材・廃材利用薪棚の完成(材料費0!!)



有志一同



部材準備(末本・原島・高杉さん)



秋の出展準備に向けメンバー打合せの様子



秋が深まり、各地区では秋祭りの最中でしたが14名の参加がありました。

安佐北区三田秋山の妙國寺のご住職から、「畑に植えた里芋を全部鹿に食われた。何とかありませんかね」との相談を受け「鹿除けフェンスを設置しましょう」との提案をした手前、里山部会に対応することとなり、早速取り掛かりました。

この日の作業は、鹿除けフェンス設置(約100m)、駐車場の出入り口のコンクリート壁を削る<sup>は</sup>り工事と土木作業が中心となりました。以前、小川フィールドで、地域住民との共同作業による害獣除けフェンスの設置を行った経験を活かし、黙々と作業に取り掛かることができました。

現役時代に土木工事現場監督の経験者で、鉄筋の技能講習を受けたことのある原島さんに、鉄筋とフェンスを結束する時に使う「手ハッカー」の指導をしていただきました。

コンクリート壁の<sup>は</sup>り作業ですが、車の出入りに影響を与えない程度に(過去に接触があり)極力少なく<sup>は</sup>らせていただきました。これで大丈夫かと思いますが、スクウスクの森に来られるときの駐車には注意してください。

12時頃から雨が降り出し、昼食をスクウスクの森の四阿で取りましたが、雨が止む気配がないので早々に後片付け済ませ作業を中止しました。帰りに明野さんから、ネズのお土産をいただき解散となりました。

次回は、11月13日(日)妙國寺で行う予定です。



原島さんによって技術の継承



畑に鹿よけネットを張る



### 第3回「もりメイトキッズ」 ～大竹市松ヶ原キッズフィールド

10月16日 《参加》子供13名 保護者11名 スタッフ：13名 学生ボランティア9名

～テーマ：【森の恵みを活かそう】 木を切ろう！パート2・シイタケの原木づくり、薪割り体験～

今年度最後のキッズは、穏やかな天候の中、無事開催されました。前回はスギの木を倒しましたが、今回はコナラ等の広葉樹に挑戦しました。

また、大学生のボランティアがたくさん参加して下さい、この時とばかりに大学生のチームを作り伐倒作業を行いました。今まで参加したキッズたちは、ノコの使い方も慣れてきて、マスターしたノコの技術を、ここぞとばかりに積極的に発揮し励

んでおりました。大学生はキッズたちに負けじと丁寧にノコを使い、力を合わせて作業を行っておりました。

みんなで力を合わせて木を伐った「楽しさ」や「がんばった」この体験を通して、森林が担う役割を学び、自然大好きな心を育み、そして守る(森林整備の大切さ)事を知り、次世代を担ってもらえたらと願うばかりです。

午後は、「森の恵みを活かそう」の一環で、前回伐倒したスギの木を利

用して薪割り体験を行いました。保護者や大学生を含め、斧を使うのが初めての方がほとんどで、なかなか思うように斧が使えなかったのですが、難しさも楽しさの裏返し。すっかり作業にはまってめげることなくやり遂げておられました。

来年度のキッズも、自然が持つ力と環境整備の重要性を伝えつつ、森の恵みを活かせるようなプログラムにしていきたいと思っています。



せ～の、いくよ！ ターザンロープだ。 大学生チーム。スタッフが伐根(切り口)をチェック。 玉切り作業、結構大変！がんばった

もりメイトキッズ、毎回のお昼は超人気。みんな大満足です。



お昼ごはんを説明する北田夫妻。毎回季節の食材を使い、子ども達の喜びそうなものを考えています。



メニューは、粟入りキノコご飯、トーガンの煮物、シュウマイ、サツマイモとリンゴのコンポート他



シュウマイは手作り。セイロで美味しく蒸し上がりました。



左：配膳の様子。コロナ前は子ども達が交代で行っていました。

右：手作りカマド。耐熱煉瓦で形を作り、周りを粘土で固めています。毎回、羽釜でご飯を炊いたり、汁を煮たり。燃料は小枝や間伐材など、すぐ近くで調達しています。8年選手！がんばれ！





## もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】



もりメイト倶楽部 Hiroshima では「森林整備の重要性」を多くの人々に理解してもらうため、方々で啓発活動の事業を展開しています。『企業が変われば社会が変わる!』という思いもあり、大きな影響力を持つ企業とのコラボレーションも意識しながら進めています。これまでに、広島県主催の「TEAM 森づくり」や、中国電力 70 周年記念森林イベント、この 6 月には、森が災害防止にどのように役立っているかを事業化した広島テレビ「森から防災」の企画運営にも携わってきました。

今号から、倶楽部の活動の報告と併せて、これまでも報告してきた企業や行政から依頼を受けての活動を「こんな事にも関わっています」とシリーズ化してお伝えしていきたいと思います。

### (株)中国放送 開局70周年事業 広島「大」家族プロジェクト RCC スクール「みんなで森を作ろう presented by ヤマネ HD」に協力!

理事長 山本恵由美

(株)中国放送様とは広島県の森づくり PR 事業のプロデューサーを行った際に特別番組の制作で関わられるご縁で、このたびの開局 70 周年の事業『つなげよう! 広島の森プロジェクト』という大イベントにお声をかけていただきました。長年の活動の積み重ねにより、企業からはご寄付も含めてご縁ができ、整備体験などの森づくりのプログラム提供を行っています。

今回は、親子で参加する森づくり体験の場所設定から内容まで企画を担当して、親子には分断された 2 つのフィールドをつなげる除伐作業を。サンフレッチェの森崎浩司さんには杉の間伐とその材を使って丸太橋の作成など見せ場を作る。TV 放映もあり、遣り甲斐のある事業に係われたことに感謝です。



サンフレッチェの森崎さん(中央)、RCC 唐澤アナウンサー(左端)を囲んで、丸太橋をかけ終えた記念に当日の講師陣も揃ってパチリ。

### ～三滝少年自然の家との関わり～

## 「施設整備の支援から環境教育の三滝キッズレンジャー企画へシフト」

顧問 見勢井 誠



毎回の活動は、講義と実践で行っています

2010 年に私の知人が小学校長を退職して「三滝少年自然の家」で勤務をしている情報を得て、それならば彼が関わるこの施設の応援をしたいと考えたのが始まり。

飛び込みで当時の所長に会いに行き、「手伝えることはないか」と打診。ちょうど考えられていた案件もあり、「是非とも関わって欲しい!」とマッチングに成功し、関わるようになりました。翌年 2 月の例会でまず手掛けたのは南側の展望をよくするための活動から始まりました。従来は薄暗く風も通らなかつたため、ヤブ蚊が多く来園者には不評の場所だったが、縦横無尽に伸びた大木を整理して広島湾が見通せるほど展望がよくなったため、風通しもよくなり、ヤブ蚊がいなくなり来園者に大変好評である旨を聞き、6 年間で会員と一般 200 人を超える参加により公的機関で貢献ができ、多くの方々に喜んでもっていることも励みになりました。

その後、施設側から「森林整備などの活動を通して、環境保全活動に自主的に取り組むことの出来る子供を育成する」『三滝キッズレンジャー』と命名された事業計画の相談を受けて、企画・運営にも関わるようになり 3 年目。さらに関わりが深まっていくことを願っています。

～森林の大切さを伝える環境教育～  
**令和4年度「太田川学校間交流 & 子ども会交流事業」**  
 5班 秋武明

**太田川学校間交流&子ども会交流事業のはじまりと関わり**

2002年に山本理事長（当時事務局長）の活動仲間から声掛けがあり、7月に太田川流域で環境活動に取り組む12団体が「太田川たんけん協会」を設立。その後「元気発見！太田川市民大会」を開催し広島市を含む11の流域市町村を元気にする活動をスタートさせた。設立意義は「流域連携」「河川環境保護」「環境教育」を推進すること。

本会は主な活動場である「三篠川」を担当することに。協働できる地域団体の発掘に苦労しながらネットワークをフル活用して口田、井原や志和口、向原の「保垣照山会」などの団体の協力を得て、2003年から上流下流の小学生児童を招いて多彩なプログラムを展開。年間2～3件を受け入れ現在まで延べ約2500人に森林の重要性を継続的に伝えている。

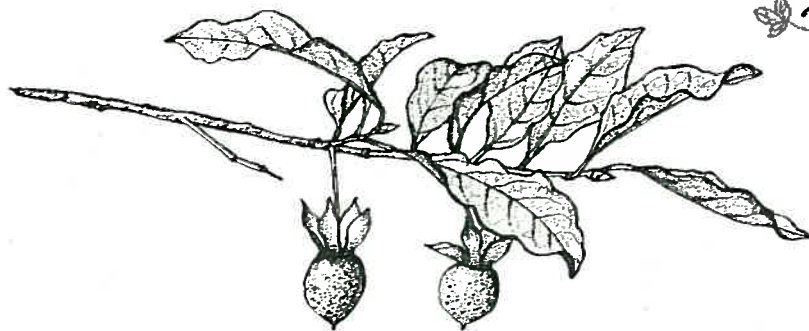
今年度は下記の通り、3校を受け入れ実施しました。全回共に午前中は「森と川とのつながり」や「自然環境保護の大切さについて」山本理事長や見勢井顧問による説明を聞いて勉強した後、子供たちが「手ノコ」をもって森に入り、実際にヒノキ等を伐採し、森林整備の成果や難しさ体験を通して学んでもらいました。

午後からは、実際に自分たちが森から切り出した木材を利用し、木工クラフトを行いました。毎回、多くの生徒が学ぶこの事業は、関わる私たち講師にとっても大変勉強になり、有意義で楽しい一日を終える事が出来ました。

未来を担う子ども達が、これらの体験を通して、自然に興味や関心を持ち、自然を大切に作る心が育まれるようにと願っています。



6月7日(火)	広島市立山田小学校 3年生 17人	遊学の森 広島市森林公園	森の学校・森の不思議を学び楽しもう！ 私たちにできるSDGs！
10月4日(火)	東広島市立志和小学校 4年生 39人	妙国寺スクウスクウの森	森づくりを体験しよう！ 私たちにできるSDGs
10月11日(火)	安芸高田市立向原小学校 5年生 35人	向原旧有留小学校跡地にて	森の魅力を再発見！



今もひと枝 原田 澄



**ロウヤガキ(老鴉柿) <カキノキ科・カキノキ属>**

中国原産の落葉小高木。葉身は4～9㍑、葉の中央が広い菱形。葉の裏には葉脈沿いに毛が生える。葉はカキノキより小さく薄くやや波打つ。花は6月。先が<sup>すぼ</sup>傘んだスズランの花のような形をしている。果実は秋。幅約2cmの先が尖った楕円形で橙色に熟し、普通の柿のように枝に直接付かずぶら下がる。雌雄異株。日本には、昭和になって観賞用として渡来。シブガキで食用にはならないが、庭木や盆栽用として人気がある。長めの萼(へた)を羽根つきの羽根になぞらえツクバナガキの別名も。・・・▼近所の庭で見つけたロウヤガキ。小枝にぶら下がって付く姿が何とも愛らしく、ひと枝頂く。▼深まる秋。たわわに実った黄金色の稲も刈り取られ、<sup>やまもろ</sup>山装う季節を迎える。日は瞬間に落ち、澄んだ夜空にはオリオンも輝き始める。時の流れの速さに戸惑いつつも、今を確かに。 ～2022年10月湯来町にて～





# —11月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

- 日時：12月4日(日)
- 場所：大竹市松が原キッズフィールド  
枯れたゴナラの伐倒作業を行います。  
難しい作業が予想されますが、やりがいあり。参加希望の方は連絡を。
- 連絡先：佐々木  
[mamakin0404@yahoo.co.jp](mailto:mamakin0404@yahoo.co.jp)



- ～自家木工・クラフト趣味の方自由に参加お待ちしております～
- 11月12日・19日・26日(土曜日) 9:00より  
山本町鹿ヶ谷基地にて活動しております。  
自作の干支を創ってみませんか。
  - 連絡先：佐藤 090-1682-6305  
[satoken069@yahoo.co.jp](mailto:satoken069@yahoo.co.jp)



## 『ひろしまドイツクリスマスマーケット 2022』 3年ぶりに開催！！

- ◆12月16日(金)・17日(土)・18日(日)
- 12:00～20:30 (最終日 19:00)
- アーバンビューグランドタワー1階(中区上八丁堀)
- 当会からは間伐材のベンチやテーブルを提供。  
最終日には木工ワークショップでも協力します。
- <https://hiroshima-christmasmarket.jp>



- 日時：11月13日(日)9時～15時
- 場所：スクウスクウの森(妙園寺裏山)  
～安佐北区白木町秋山 1479～
- 作業：害獣防護柵設置などの環境整備
- 持参品：水筒・弁当・山の道具  
ペンチ・番線カッターなどの大工道具を  
お持ちの方はご持参ください。よろしく  
お願いします。
- 連絡先：岩田 080-5751-3798



## 広島のアシスの環境を守るアシを刈り取ろう！

- 市街地では珍しい葦原が広がる貴重な場所を守るため、古いアシを刈って新芽の芽吹きを助けます  
そのアシは1月28日の「とんど祭」と、  
「古民家の屋根」に使用する予定です。
- ◆12月3日(土)①10時～12時 ②13時～15時
  - 中区白島九軒町 白潮公園(ダイキ白島店裏) ※駐車可



12月号の会報発送作業は下記の通り実施します。  
活動の日程を早くお知らせすることができるよう  
に、発送を1週間早めております。ご協力下さい。

- 日時：11月30日(水) 18:00～
- 場所：広島市まちづくり市民交流プラザ3F



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って  
森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた  
木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。  
私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

### 会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

### 年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

### お申込み方法

下記まで電話、又はメールで  
【電話】090-6419-7531  
【Email】[info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)

### 会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383  
【ゆうちょ銀行】15170-18029291  
《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》